

機械器具 61 歯科用ハンドピース
管理医療機器 ストレート・ギアードアングルハンドピース (JMDN コード : 70692000)

特定保守管理医療機器

コントラアングルハンドピース

【警告】

- 患者ごとに、指定する方法及び条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌をすること。
[感染予防のため]
- 他社製品の根管長測定機能を併用する場合は、根管長測定器の添付文書や取扱説明書も併せて参照すること。[植込み型心臓ペースメーカー又は植込み型除細動器の誤動作のおそれ]

【禁忌・禁止】

- ハンドピースには、傷、変形、錆又は欠け及び汚れ・異物又は洗浄剤が付着したバーやリーマ等を使用しないこと。(バー破損による怪我の恐れ)
- ヘッドの回転数を許容最高回転数以上にしないこと。(発熱及び破損の恐れ)

【形状・構造及び原理等】

【形状・構造等】



モデル名	RL Kitsutsuki YJ
減速比	4 : 1 減速
最高許容回転速度	10,000rpm (モーター側)
使用バー	JIS T 5504-1 : 2001 軸研形式1
モーターとの接続	JIS T 5904 : 1993 準拠

【使用目的又は効果】

駆動源からの回転を等速又は変速して、歯又は義歯等を切削又は研磨する歯科用バー、リーマ等に伝達すること。

【使用方法等】

- モーターに接続する。詳しくはモーター側の取扱説明書に従って下さい。
- ボタンを押しバーを奥まで差し込み、ボタンを離しバーを装着する。
- モーターを回転させ、使用する。

〈使用方法に関連する使用上の注意〉

- コントラヘッドをシャンクに接続後、緩みやガタがないことを確認すること。
- ハンドピースをモーターに接続後、緩みやガタがないことを確認すること。ハンドピースを接続するモーターは JIS T 5904:1993 接続形式モデルを使用すること。
- プッシュボタンを押さない状態で、バーやリーマ等を無理に着脱しないこと。
- バーやリーマ等を取付ける際は、途中で止めず、奥まで確実に取付け、取付け後は引っ張って抜けないことを確認すること。
- ハンドピースには、次の条件の全てを満たすバーやリーマ等を使用すること。
軸研形式：軸研形式1
軸の直径：φ2.35 mm
軸部長さ：15 mm
作業部直径：0.15 mm 以上 0.25mm 以下
全長：40 mm 以下

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 切削時は、必要に応じて注水、冷却エアなどを使用すること。
- 回転中にプッシュボタンに触れないこと。プッシュボタンが押されて内部陪品の回転部分と接触し、発熱して熱傷をしたり、バーやリーマ等が抜け、口腔内に飛び出す恐れがあり危険。
- バーやリーマ等の製造販売業者の指定した使用目的、回転速度及び回転方向で使用すること。

